



## 長野県議会11月定例会 文化財の保存と活用と効果的な情報発信を



一般質問

一般質問において、長野県の文化財の保存と活用について、観光振興や地域の活性化につながる文化財の情報発信について県の取り組みを質問しました。

また、インバウンド需要を取り込むことによる伝統的工芸品の販路拡大、伝統的工芸品の魅力と伝統の技を受け継ぐ取り組みについて県の対応を伺いました。

### 「文化財保存活用地域計画」のメリット

【丸山】 県内市町村による「文化財保存活用地域計画」の作成状況と計画作成によるメリットを伺う。

【直江県民文化部長】 「文化財保存活用地域計画」は、松本市、千曲市、上田市、塩尻市、長野市、伊那市が作成し、文化庁の認定を受けている。メリットとしては、補助率の加算など国庫補助事業における優遇、文化財の変更



### 「文化財保存活用大綱」による情報発信

【丸山】 「文化財保存活用大綱」を県が策定中とのことであるが、デジタル技術の活用等、文化財に関する情報発信の取り組みを伺う。  
【直江県民文化部長】 文化財情報のデータ提供や県立歴史館における企画展、講座等の開催、県埋蔵文化財

許可等で認定市町村への事務の権限移譲がある。更に国の登録文化財となりうる物件等を国に提案できる制度である。また、計画の作成過程を共有することで、文化財の保存・活用に対する地域住民の関心や理解の促進、地域のアイデンティティの醸成につながる。地域住民が参画することにより、文化財が地域の宝として認識され、文化財を守り育て、観光やまちづくりへの活用が期待される。

センターによる遺跡の現地説明会、報告会、情報誌の発行等に取り組んでいる。

多くの人に文化財の存在や価値を知ってもらうことは、住民の保護意識の醸成による継承の推進、観光振興や地域活性化等につながり、情報発信は大変重要と認識している。そのため、「文化財保存活用大綱」では、「文化財に関する情報発信の充実・強化」を施策の柱と位置づけ、対象や目的に応じて効果的な手法を検討すると共に、県の文化芸術情報発信サイトや公式観光サイト等の広報手法を活用して、文化財の存在や価値に加え、その背景となるストーリー等も含め情報発信に取り組んでいく。



## 伝統的工芸品の 販路拡大と伝統の技の継承を

### インバウンド需要の 取り込みと販路拡大

【丸山】 木曾くらしの工芸館「信州の伝統的工芸品常設展示場」の来場者数と活動の実績はどうか。また、奈良井宿から木曾平沢にもインバウンド需要を取り込むことが重要と考えるが、今後の進め方を伺う。

【田中産業労働部長】 今年8月のオープンから、11月末までの来場者数は、8,000人である。10月に木曾漆器工業協同組合による異業種交流イベントを実施し、「SUWAプレミアム」製品の展示販売のほか、漆器工房でものづくりの現場見学も行う。伝統的工芸品の需要拡大には、インバウンドを取り込むことも重要で、外国人観光客をターゲットとした伝統的工芸品の手作り体験のツアーを実施している。この事例を他の産地や観光地にも紹介し、海外需要も視野に入れた販路拡大を展開していく。

### 伝統的工芸品展の 継続開催と情報提供

【丸山】 松本市の井上百貨店が閉店するが、これまで開催されてきた「長野県伝統

工芸品展」の今後の開催計画について伺う。

【田中産業労働部長】 主催する県伝統工芸品産業振興協議会の産地組合等と意見交換したところ、地域に根付いた歴史ある展示会であるため、継続したい意向がある。中信地域のショッピングセンター等を軸に開催する方向で検討している。

工芸品展は、実際に見て触れて購入して頂く良い機会であり、展示会を機会に産地に足を運ぶよう誘導することも重要な狙いである。県内には様々な工芸品の体験ができる場所があるため、体験工房等の情報を工芸品展やホームページ等で幅広い世代に情報提供できるように取り組んでいく。

### 伝統的工芸品産業の継承



【丸山】 伝統的工芸品産業は、人の手により地道に技を将来に繋げていく産業であり、若い世代に受け継がなければ廃れてしまう。県として、どのように伝統を繋げていくのか所見を伺う。

【田中産業労働部長】 伝統的工芸品は、機械化により、品質や生産効率を高めるものづくりとは違い、作り手自身が、工芸品に関心や興味を持ち、作ってみたいと強く思うことから始まる。そのため、工芸品の歴史やストーリーを学び、工芸品を見て触れて、職人の心意気を感じるインターシップ事業を通して、若者と産地事業者との出会いの場を設けている。

若い頃に見聞きし、体験したことは、将来も心に残るものである。長野大学において、伝統的工芸品に関する学ぶ場を設けているが、高校生にも教育の機会を増やす検討をしており、伝統的工芸品の魅力を若者に繋ぐ施策を進め、伝統の技を受け継ぐ未来世代の確保に取り組んでいく。





# 農政林務委員会で質問しました

## 林務部

### 県産材利用推進室

#### 信州F・POWER プロジェクトへの取り組み

【丸山】 綿半ホールディングス(株)が発電事業において、令和6年11月に(株)九電工と共同で新会社を設立し、ソヤノウッドパワー(株)の事業を継承する旨を公表したが、市民から心配の質問を頻繁に受けている。発電事業の開始当初から、県は、「民間の事業である」ことを理由に十分に説明しなかったが、これまでの状況と今後の展開、県の取り組みについて、どのように説明していくのか。

した給食を実施した割合が42%となっているが、調査方法を伺う。

【室長】 有機農産物を二品でも使用した給食の実施率は、令和3年度の28%から、令和5年度は、42%に増加している。また、6品以上の使用が多く、現場の意識も高まってきている。調査方法は、県内の小中義務教育、特別支援学校530校を対象にしたアンケート調査である。

【丸山】 有機農業の生産者を増やす取り組みと推進体制を伺う。

【室長】 生産者を増やすには、誰もが取り組める栽培技術の確立が必要である。また、県では、生産から消費までのプラットフォームを作り、意見交換しながら推進体制を構築していく。

【室長】 塩尻市と地元区には、多大な協力を頂いてきた。新会社での「固定価格買取制度(FIT)」の事前説明会で、今後の県の取り組みについて丁寧に説明を行う。また、市の担当者とも県の取り組みを含め情報交換し、連携して進めていく。

## 農政部 農業技術課

### 農産物マーケティング室

#### 学校給食等における 有機給食の取り組み推進

【丸山】 茨城県常陸大宮市で有機農業による有機給食の取り組みを視察したが、長野県の場合はどうか。また、学校で有機農業の農産物を一品以上使用



## 活動記録

[2024年10~12月抜粋]

主催者、地区役員の方々や市民の皆様と懇談し、ご意見を伺いました

10/12(土)	片丘小学校学校開放行事/木育フェスティバル
10/13(日)	塩尻東地区ふれあい運動会/北小野地区運動会
10/16(水)	アンサンブル伊那視察(福祉)
10/19(土)	長野県野菜花き試験場一般公開視察/しのめカフェ(秋)子ども食堂
10/20(日)	塩尻東地区公民館まつり
10/21(月)	長野県手をつなぐ育成会大会・講演会
10/30(水)-11/1(金)	農政林務委員会視察(岩手県・宮城県)
11/2(土)	市民健康ウォーキング
11/4(月)	片丘さわやか駅伝大会/北熊井区防災公園オープンセレモニー
11/6(水)	塩の道経済懇談会
11/8(金)	塩尻市技能者褒賞式
11/9(土)	片丘地区文化祭/大門地区文化祭/奈良井灯明祭り
11/10(日)	広丘地区文化祭・音楽祭
11/12(火)	長野県議会地方自治政策研究会
11/13(水)-15(金)	改革信州 県外視察(栃木県・茨城県)
11/20(水)	塩尻市PTA連合会、教育行政懇談会
11/22(金)	合同県要望(奈良井川水系改良他 各期成同盟会)
11/23(土)	くらしのあんしんプロジェクト懇談会(福祉)
11/29(金)	片丘地域づくり協議会臨時総会
11/30(土)	丸山寿子県政報告会(木曾くらしの工芸館)
12/1(日)	丸山寿子県政報告会(レザンホール)/塩尻市ゲートボール大会開会式 出口姉妹バリオ五輪出場報告会(松本市)
12/7(土)	豊かな心を育む市民の集い
12/12(木)	連合松本の集い
12/13(金)	片丘小学校運営協議会
12/15(日)	塩尻市スポーツ協会表彰式
12/16(月)	県訪問介護セミナー(長野市)
12/24(火)	両小野バイパス・片丘バイパス県要望
12/25(水)	発達障がい支援 県議連視察/県男女共同参画審議会

### ■ 県政報告会:木曾くらしの工芸館

丸山寿子県政報告会を開催し、参加された方々から、今後の漆器産業や奈良井宿を含む観光について、更に人口減少や高齢化を見据えた暮らしについて質問、ご意見を頂きました。頂いた提案を今後の活動に活かしてまいります。



### ■ 県政報告会:レザンホール

丸山寿子県政報告会とミニ学習会を開催しました。栗岩助産師から「包括的性教育」について、市民活動をされている宮尾さんから「摂食障害への対応」についてお話しを頂きました。今の時代、大人も正しく理解し、対応していくべき内容です。県議会でも提案されており、県の動向を報告しました。(来年度、県内に摂食障害の拠点となる病院を指定する予定)



### 10月30~11月1日



### ■ 農政林務委員会 岩手県・宮城県現地調査

農政林務委員会で岩手県、宮城県を視察しました。東日本大震災の時にボランティアで複数回行きましたが、再度大震災を心にとめました。

【岩手県】①いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会:県産米のブランド化、②ノースジャパン素材流通協同組合:木材のサプライチェーンマネジメント  
③花巻農業協同組合:新品種雑穀の普及拡大  
【宮城県】④南三陸自伐型林業協会:自伐型林業、⑤デ・リーフデ北上:再生エネルギーとDXを活用した農業、⑥宮城県林業技術総合センター:県産材を活用したCLTパネル工法の建築物等

### 11月13~15日



### ■ 改革信州 栃木県・茨城県現地調査

会派で栃木県、茨城県を視察しました。田んぼダム、文化財を地域で支える工夫、オーガニック給食等、参考にしたいと思います。

【栃木県】①LRT(ライトレール・次世代型路面電車)の取り組み、②田んぼダムの取り組み、③文化財を地域で支える仕組みづくり、④無人自動運転移動サービス、⑤栃木県農業総合研究センターいちご研究所:気候変動に対応した品種づくり  
【茨城県】⑥オーガニック給食と有機農業の取り組み

## 扉を開けて

4月に「国連女性差別撤廃条約選択議定書」の学習会に参加しました。日本は、ジェンダー・ギャップ指数が146か国中118位で国連機関からも勧告を受けています。「政府に選択議定書の批准を求める意見書を提出し、ジェンダー平等意識の向上を」の呼びかけで県内の有志でアクションを起こしました。現在70議会が提出にこぎつけています。今後、学習会を重ねて、解を深める活動が大切です。塩尻市は、令和7年3月9日に「えんてらす」で開催する予定です。

### 2月定例会 日程(予定)

- ▶2月13日 開会
- ▶2月19日~20日 代表質問及び質疑
- ▶2月21日~28日 一般質問及び質疑
- ▶3月 4日~11日 各委員会
- ▶3月14日 閉会

